

# 緊急連絡

平成 17 年 9 月 28 日

組換えDNA実験 及び  
第二種使用等遺伝子組換え実験  
実験責任者・実験従事者 殿

学 長 薬師寺 道明

## 遺伝子組換え実験の中止について

標記実験において、増殖性のファージベクター「ラムダファージ、M13 ファージ、P1 ファージ」を使用している実験については、直ちに実験を中止し、下記により「第二種使用等遺伝子組換え実験中止報告書」を提出していただきますようお願いいたします。

### 記

理由：自立的な増殖力及び感染力を保持したウイルス又はウイロイド（文部科学大臣が定めるものを除く）は大臣確認実験となります。増殖性のファージベクター「ラムダファージ、M13 ファージ、P1 ファージ」は、この一部例外に含まれません。したがってこれらのファージを使用している実験については文部科学大臣が定める「大臣確認実験」に該当し、大臣への申請手続きが必要であるためです。（9月9日開催の文科省による説明会にて判明）

### 手続：

#### ＝中 止＝

- ・ 実験責任者名（実験責任者が退職し、不在の場合は実験従事者名）で「第二種使用等遺伝子組換え実験中止報告書」を提出してください。

### 実験再開について：

- ・ 文部科学大臣への手続きが必要となります。
- ・ 「申請書」を提出して下さい。（ご連絡下さい。記入の見本をお渡しします）
- ・ 大臣の確認には平均3～4ヶ月かかります。

### 又は

年内にはファージベクターを例外リストに入れると文部科学省はコメントしているようですので、現在ファージをお持ちの方は実験を施行せず、フリーザー等に保管をしていたければ保管自体は問題ありません。例外リスト掲載後に、「実験計画申請書」（大学用）を提出してください。

大臣確認を怠った場合は、刑事罰を課せられます。必ず、上記手続きを執っていただきますようお願いいたします。ご理解の程、何卒宜しくお願いいたします。

中止報告書提出・申請書請求・お問合せ先： 研究推進課 土岐

TEL 31-7917 Ext2262 kensui@kurume-u.ac.jp